

第2回 献血推進本部議事次第

日時： 平成17年5月30日 16時00分から
場所： 厚生労働省専用第15会議室（厚生労働省7階）

議 題

- 1 新たな献血制限の実施について
- 2 献血構造改革の推進について
- 3 その他

配 布 資 料

- 資料A-1 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病対策を実施した場合の影響の評価及び対応について（案）
- 資料A-2 都内におけるvCJD献血制限による献血者減少対策について
- 資料A-3 献血推進本部における呼びかけの状況について
- 資料B 血液構造改革の重点事項について（案）

本日の推進本部会議は、厚生労働大臣ご出席の下、公開で実施しますのでご協力をお願いします。

献血推進本部設置要綱

1. 目的

血液製剤による変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）の伝播防止のための献血制限において、国民の医療に必要な血液製剤の供給に支障を来さないよう、関係部局の協力の下、献血の確保、血液製剤の適正使用等の対策の一層の推進を図る。

2. 構成

本部長 厚生労働大臣

副本部長 本部長が指名する副大臣
本部長が指名する政務官

本部長 事務次官
厚生労働審議官
官房長
総括審議官
技術総括審議官
医政局長
健康局長
医薬食品局長
労働基準局長
職業能力開発局長
その他本部長が指名する者

3. 庶務

本部の庶務は、医薬食品局血液対策課において処理する。

4. 補足

本部の運営に関し必要な事項は、本部長が別に定める。

5. 設置日

平成17年4月1日（金）

変異型クロイツフェルト・ヤコブ病対策を実施した場合の
献血への影響及び対応について（案）

平成 17 年 5 月 医薬食品局

1 英国滞在歴による献血制限の影響調査

	英国滞在者献血 制限による減少 見込み率	4 月以降の献血呼びかけ による献血者の増加率 ()内は新規献血者の増加率	増減
全国	2. 6%	10. 2%(4. 5%)	7. 6%(1. 9%)
東京	5. 7%※	5. 5%(2. 1%)	△0. 2%(△3. 6%)

※ 東京は 3 月の調査では 6. 7%減の見込みであったが、4・5 月の調査では 5. 7%
に減少（アナウンス効果等）

※ 血液製剤の在庫については、4 月 7 日が 72%と最も低く、5 月 6 日が 213%
と最も高かった（5 月 26 日現在は 177%である）

2 血液製剤の在庫の見込み

(1) 全国

英国滞在歴のある献血者を制限しても、献血への呼びかけを継続することにより、安定的に在庫を確保することが可能。

(2) 東京都

- ① 献血者への呼びかけを継続し、多くの人々に協力いただくことにより、5. 7%減の影響を補う方向。
- ② ただし、4 月の呼びかけにおいて、東京は新規献血者増が少なく（2. 1%）、複数回献血者の増が確保できない場合、3. 6%程度の献血者の減となり、在庫水準も季節的に厳しくなる可能性あり。

3 今後の対応

(1) 献血制限の開始

○平成 17 年 6 月 1 日から 1980 年～1996 年までの間に英国に 1 日以上滞在した者の献血制限を実施。

○まれな血液型（ボンベイ型、Mk 型、p 型等）については、献血制限により輸血できないおそれが生じるため、当面、制限の対象とせず、これらの血液を輸血する場合は、医療機関と連携し十分なインフォームド・コンセントを行う。

○常に全国の在庫水準等を把握し、供給量が危機的状況に陥る状況を早期に捉え、問題が生じれば、英国滞在者の献血制限の内容を再検討する。

※ 英国滞在者に献血をご遠慮いただく際には、今回の措置の背景を十分に説明し、かつ、当面の措置であることを伝える必要がある。

(2) 今後の対策

○献血推進の呼びかけの継続

○適正使用の推進

○危機管理対応

・血液製剤の在庫水準低下時の危機管理対応

・東京地域における在庫欠品時の全国的血液製剤搬送

○少子高齢化社会に向けて献血に係る構造改革を推進

(参 考)

3月及び4月以降の調査（日本赤十字社）により得られた影響見込み

	調査地点	調査期間	英国滞在者献血制限による減少見込み
東京	東京	3月16～22日	6.7%
		4月19～22日	5.7%
		5月16～20日	
全国	東京、北海道、大阪、宮城、愛知、岡山、福岡	3月16～22日	3.6%
	大阪、北海道	4月19～22日	2.6%

※ 4月以降の数値は、献血呼びかけによるアナウンス効果等を踏まえたもの

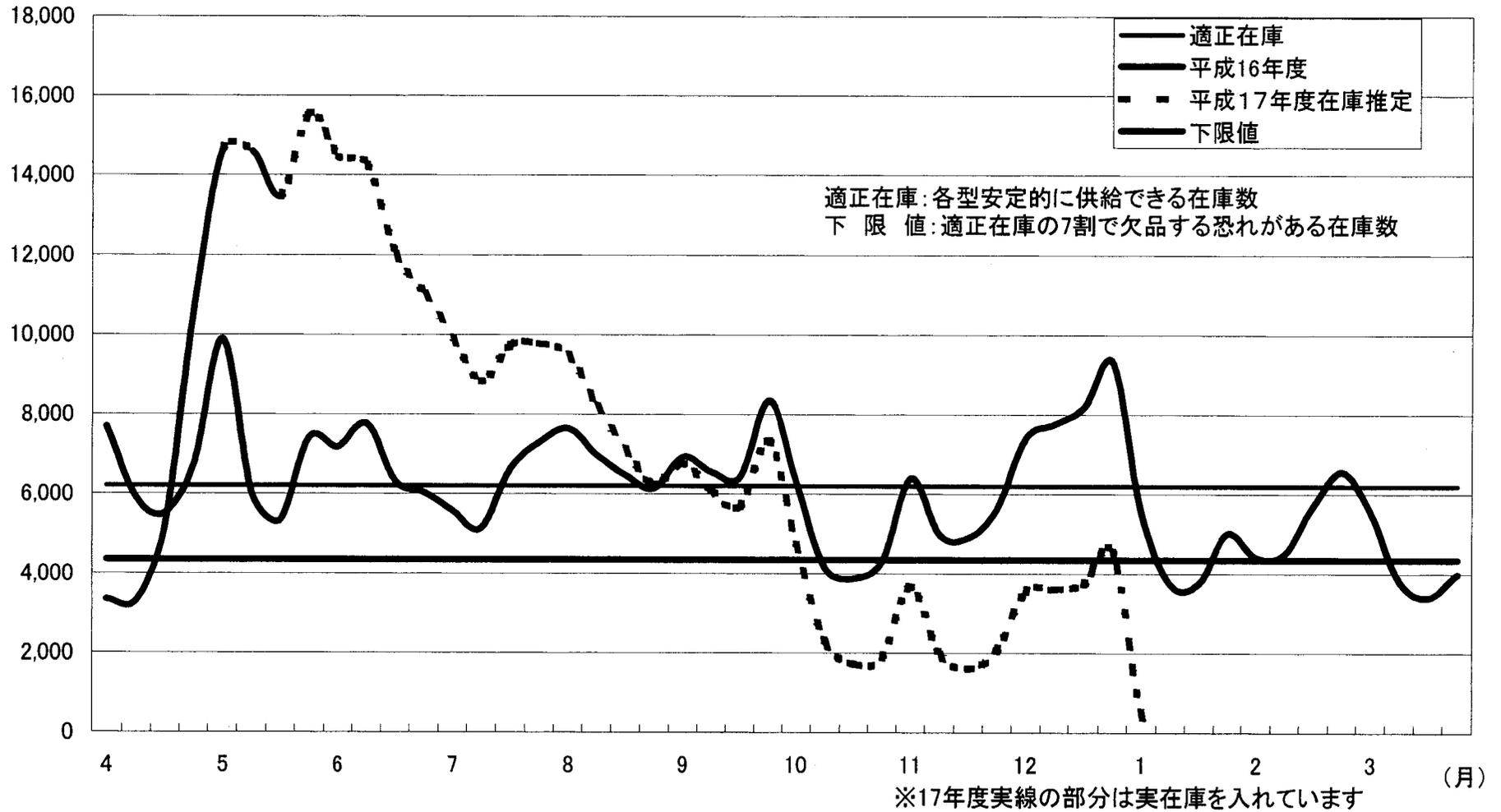
4月以降の献血呼びかけによる献血者の増加率

	調査地点	調査期間	対前年増加率※	対前年新規献血者増加率※
東京	東京	4月1～30日	5.5%	2.1%
		4月1～5月6日	6.8%	
東京以外	全国	4月1～30日	10.2%	4.5%
		4月1～5月6日	15.8%	

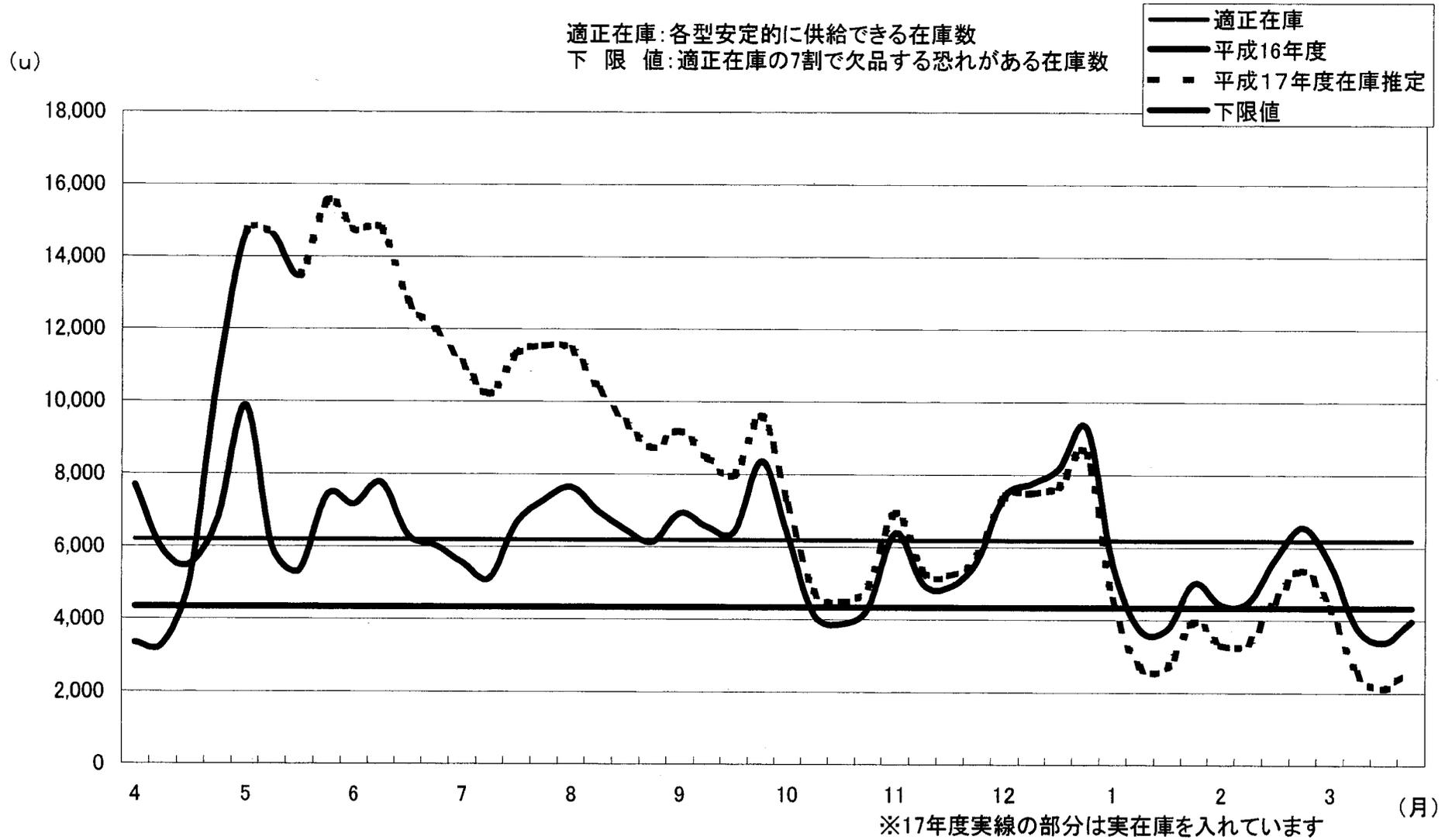
※ 前年同時期の献血者数を100%として計算

年度別赤血球在庫の推移(東京都内:英国渡航歴5.7%)

(u)



年度別赤血球在庫の推移(東京都内:英国渡航歴5.7-キャンペーン効果2.1%)



英国滞在献血者数調査

調査期間 3/16～3/22

調査期間 4/19～4/22

調査期間 5/17～5/20

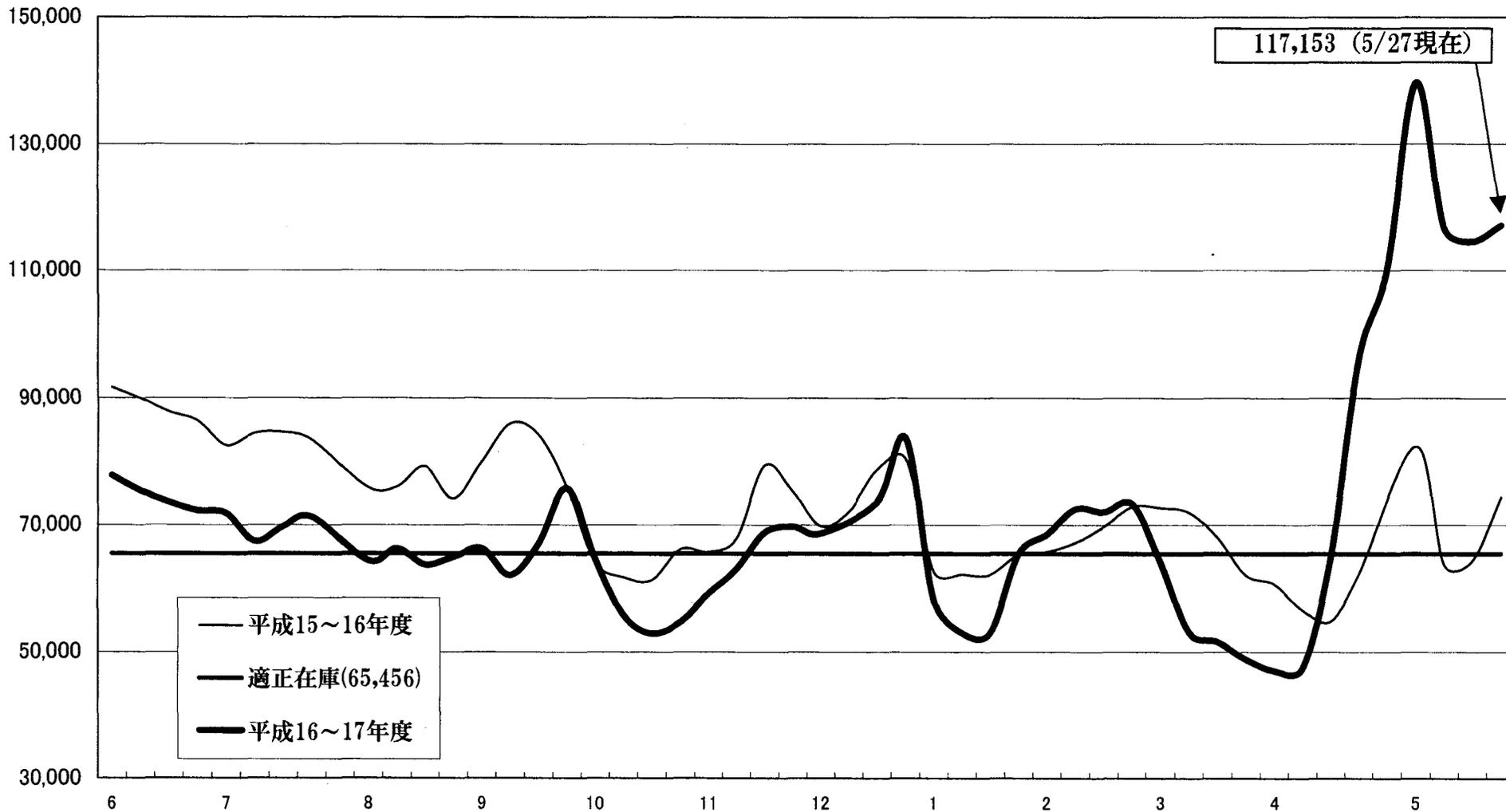
施設	調査対象	1日以上滞在	%
東京	7,118	477	6.7%
北海道	2,454	68	2.8%
大阪	8,102	292	3.6%
宮城	1,948	35	1.8%
愛知	6,337	112	1.8%
岡山	1,839	34	1.8%
福岡	3,391	105	3.1%
神奈川	3,541	132	3.7%
合計	34,730	1,255	3.6%

施設	調査対象	1日以上滞在	%
東京	8,406	483	5.7%
北海道	3,005	59	2.0%
大阪	7,304	212	2.9%
合計	10,309	271	2.6%

施設	調査対象	1日以上滞在	%
東京	8,622	490	5.7%
新規	1,443	73	5.1%
1年間の献血実績が1回	3,165	202	6.4%
1年間の献血実績が2回	1,924	114	5.9%
1年間の献血実績が3回	777	33	4.2%
1年間の献血実績が4回	326	16	4.9%
1年間の献血実績が5回以上	987	52	5.3%

年度別赤血球在庫の推移 (全国集計)

(u)



Main table with 12 columns: センター名, 血液型, 赤血球製剤(照射血含) (適正在庫数, 実在庫数, 差, 保有率). Rows are organized by prefecture (北海道, 宮城, 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川, 新潟, 山梨, 富山, 石川, 福井, 長野, 岐阜, 静岡, 愛知, 三重, 鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口, 徳島, 香川, 愛媛, 高知, 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山, 福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄) and a final '全国' (National) summary section.

まれ 血型 名称	A B O 型	R h 型	数 量
para-Bombay	B型	+	1
p	A型	+	11
-D-	O型	+	3
-D-	B型	+	2
Lu(a-b-)	O型	+	1
Ko	O型	+	6
Ge-	A型	+	1
Gy(a-)Hy-	O型	+	1
Fy(a-)	A型	-	4
Fy(a-)	A型	+	53
Fy(a-)	O型	-	2
Fy(a-)	O型	+	23
Fy(a-)	B型	-	2
Fy(a-)	B型	+	34
Fy(a-)	AB型	+	6
Di(b-)	A型	-	3
Di(b-)	A型	+	18
Di(b-)	O型	+	3
Di(b-)	B型	+	4
Jr(a-)	A型	+	110
Jr(a-)	O型	-	2
Jr(a-)	O型	+	121
Jr(a-)	B型	+	30
Jr(a-)	AB型	+	23

1
11
3
2
1
6
1
1
4
53
2
23
2
34
6
3
18
3
4
110
2
121
30
23

464

供給本数

平成16年4月1日～17年3月31日まで供給したFTRC関連

No.	まれな血液型	製剤名	計	A		O		B		AB	
				+	-	+	-	+	-	+	-
5	Bombay	FRC1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
6	Bombay	4FRC2	11	0	0	10	0	1	0	0	0
7	para-Bombay	FRC1	55	28	0	4	0	16	0	7	0
8	para-Bombay	4FRC2	69	30	0	30	0	5	0	4	0
9	para-Bombay	IRFRC1	3	1	0	0	0	2	0	0	0
10	para-Bombay	IR4FRC2	4	3	0	0	0	1	0	0	0
11	Mk	FRC1	2	0	0	0	2	0	0	0	0
12	En(a-)	4FRC2	12	1	0	1	0	10	0	0	0
13	En(a-)&s-	4FRC2	2	0	0	0	0	2	0	0	0
14	Miv/Miv	4FRC2	5	5	0	0	0	0	0	0	0
15	Miv/Miv	IRFRC1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
16	S-s-U	4FRC2	7	0	0	0	7	0	0	0	0
17	p	FRC1	10	3	0	6	0	0	0	1	0
18	p	4FRC2	17	3	0	6	1	5	0	2	0
19	p	IRFRC1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
20	p	IR4FRC2	3	1	0	1	0	1	0	0	0
21	Pk	4FRC2	2	0	0	1	0	0	0	1	0
22	Rhnull	FRC1	2	0	2	0	0	0	0	0	0
23	Rhnull	4FRC2	11	0	11	0	0	0	0	0	0
24	Rhmod	4FRC2	2	0	1	0	1	0	0	0	0
25	-D-	FRC1	52	22	0	8	0	15	0	7	0
26	-D-	4FRC2	107	59	0	33	0	11	0	4	0
27	-D-	IRFRC1	8	3	0	2	0	2	0	1	0
28	-D-	IR4FRC2	9	6	0	1	0	1	0	1	0
29	-D-&Fy(a-)	FRC1	2	1	0	0	0	1	0	0	0
30	Lu(a-b-)	FRC1	36	4	0	8	7	15	0	2	0
31	Lu(a-b-)	4FRC2	111	37	0	24	3	33	6	8	0
32	Lu(a-b-)	IR4FRC2	9	2	0	3	0	3	1	0	0
33	Lu(a-b-)&Fy(a-)	4FRC2	4	0	0	4	0	0	0	0	0
34	Lu(a-b-)&Di(b-)	4FRC2	4	4	0	0	0	0	0	0	0
35	Ko	FRC1	60	27	0	19	0	3	0	11	0
36	Ko	4FRC2	135	39	0	31	0	46	0	19	0
37	Ko	IRFRC1	6	3	0	1	0	0	0	2	0
38	Ko	IR4FRC2	15	8	0	4	0	1	0	2	0
39	Ko&Kp(a-b-)	4FRC2	3	0	0	2	0	0	0	1	0
40	Ko&Fy(a-)	4FRC2	3	3	0	0	0	0	0	0	0
41	McLeod	FRC1	2	0	0	2	0	0	0	0	0
42	McLeod	4FRC2	34	14	0	2	0	16	0	2	0
43	McLeod	IRFRC1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
44	McLeod	IR4FRC2	2	0	0	0	0	2	0	0	0
45	Fy(a-b-)	4FRC2	2	1	0	1	0	0	0	0	0
46	Fy(a-b-)	IR4FRC2	1	0	0	0	1	0	0	0	0
47	Jk(a-b-)	FRC1	25	9	0	7	0	1	0	8	0
48	Jk(a-b-)	4FRC2	42	16	0	12	1	4	1	8	0
49	Jk(a-b-)	IRFRC1	6	5	0	1	0	0	0	0	0
50	Jk(a-b-)	IR4FRC2	5	3	0	1	0	0	0	1	0
51	Jk(a-b-)&s-	IR4FRC2	2	0	0	0	0	2	0	0	0
52	I-	FRC1	9	1	0	0	0	4	0	4	0
53	I-	4FRC2	17	4	0	0	0	9	0	4	0
54	Ge-	FRC1	6	4	0	0	0	0	0	2	0
55	Ge-	4FRC2	35	5	0	6	0	23	0	1	0
56	Ge-	IR4FRC2	1	0	0	0	0	1	0	0	0
57	Lan-	FRC1	11	0	0	11	0	0	0	0	0
58	IFC-	4FRC2	2	2	0	0	0	0	0	0	0
59	Gy(a-)Hy-	FRC1	24	1	0	9	0	6	0	8	0
60	Gy(a-)Hy-	4FRC2	3	0	0	2	0	0	0	1	0
61	Gy(a-)Hy-&Fy(a-)	FRC1	2	0	0	2	0	0	0	0	0
62	Gy(a-)Hy-&Fy(a-)	4FRC2	4	0	0	4	0	0	0	0	0
63	Ok(a-)	FRC1	6	2	0	2	0	2	0	0	0
64	Ok(a-)	4FRC2	15	8	0	3	0	0	0	4	0

65	JMH-	FRC1	14	1	0	7	0	6	0	0	0
66	JMH-	4FRC2	23	1	0	18	0	4	0	0	0
67	Er(-)	FRC1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
68	s-	FRC1	73	9	17	18	15	6	4	1	3
69	s-	4FRC2	220	21	33	54	63	9	15	11	14
70	s-	IRFRC1	2	0	0	0	1	0	0	1	0
71	s-	IR4FRC2	18	3	2	2	4	1	0	5	1
72	s-&Fy(a-)	FRC1	10	7	2	0	0	0	0	1	0
73	s-&Fy(a-)	4FRC2	26	8	0	1	16	1	0	0	0
74	s-&Fy(a-)	IR4FRC2	2	0	1	1	0	0	0	0	0
75	s-&Di(b-)	FRC1	5	2	0	2	1	0	0	0	0
76	s-&Di(b-)	4FRC2	13	1	0	9	0	0	0	3	0
77	s-&Di(b-)	IR4FRC2	2	1	0	0	0	0	0	1	0
78	s-&Jr(a-)	4FRC2	7	0	6	0	0	1	0	0	0
79	s-&Jr(a-)	IR4FRC2	2	2	0	0	0	0	0	0	0
80	Fy(a-)	FRC1	466	41	48	102	56	69	72	58	20
81	Fy(a-)	4FRC2	1,174	213	122	258	159	130	113	120	59
82	Fy(a-)	IRFRC1	14	2	1	2	3	1	1	3	1
83	Fy(a-)	IR4FRC2	80	24	7	13	12	6	6	7	5
84	Fy(a-)&Di(b-)	FRC1	21	1	0	17	1	1	0	1	0
85	Fy(a-)&Di(b-)	4FRC2	35	14	0	18	1	2	0	0	0
86	Fy(a-)&Di(b-)	IR4FRC2	3	2	0	1	0	0	0	0	0
87	Fy(a-)&Jr(a-)	FRC1	15	2	0	7	0	4	0	2	0
88	Fy(a-)&Jr(a-)	4FRC2	24	12	0	9	0	2	0	1	0
89	Fy(a-)&Jr(a-)	IRFRC1	2	0	0	1	0	0	0	1	0
90	Fy(a-)&Jr(a-)	IR4FRC2	3	0	0	3	0	0	0	0	0
91	Di(b-)	FRC1	302	81	11	94	16	56	15	28	1
92	Di(b-)	4FRC2	930	220	43	274	36	193	30	131	3
93	Di(b-)	IRFRC1	13	4	0	6	0	1	1	1	0
94	Di(b-)	IR4FRC2	58	14	2	26	2	8	1	5	0
95	Di(b-)&Jr(a-)	FRC1	2	2	0	0	0	0	0	0	0
96	Di(b-)&Jr(a-)	4FRC2	8	3	0	5	0	0	0	0	0
97	Di(b-)&Jr(a-)	IR4FRC2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
98	Jr(a-)	FRC1	323	95	8	86	5	87	4	36	2
99	Jr(a-)	4FRC2	453	130	12	84	24	144	6	51	2
100	Jr(a-)	IRFRC1	46	15	0	14	0	8	0	9	0
101	Jr(a-)	IR4FRC2	101	38	2	19	0	28	0	14	0
合計			5533	1340	331	1417	438	1013	276	607	111

No.1.2.3.4は中間製剤データにまれな血型がはいっていないもの。